

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束をしないケアについての認識は、職員一人ひとりある程度はあるが、一步踏み込んだ認識には不十分さが残る。	全職員が、身体拘束をしないケアへの理解と確実な実践が出来るようにする。	まずは、教科書やマニュアル等を活用した勉強会の実施を今迄以上に増やす。そして、当ホームでの現状に即した対応方法を主任・ユニットリーダーを主体に検討改善していき、全職員が同一方向へ進むように導く。	6ヶ月
2	35	災害対策として、グループホーム稲葉単独の火災訓練(昼間想定)は毎年実施しているが、隣接する小規模多機能施設や地域住民の方々の協力体制での訓練が出来ていない。(夜間想定)	隣接する小規模多機能施設との、協力体制での夜間想定災害訓練の実施。また、地域住民の方々に参加してもらっての災害訓練の実施。	小規模多機能施設との協力体制での災害訓練は、それぞれの防火管理者が、スケジュール立て等をして実行したい。地域住民参加型の災害訓練は、区長さん等にも相談してまずは、当ホーム近辺の住民の方々に参加をしてもらう。	8ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。